

本当の自分をさがす旅の途中

すべてに活動で恩返し

花冷えの日は続き、今年は桜を愛でる日が長く私たちの目を楽しませてくれた。ほこが顔を覗かせる。満開の桜、そして、はらはらと舞い散る桜、その枝にはしつかりと若葉の作品へ出演し、「流しのおちちゃん」の愛称で親しまれている、笠間市にお住まいの太田剛さん取材する。



「まだまだ人生の旅の途中。これからも自分探しの旅は続きます。」と語る太田さん

演劇ファミリーMyu

太田 剛さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
 のすすめ
 No.35

太田さんと演劇との出会いは、あるミュージカを観たことをきっかけに水戸市芸術館で行われていた「市民演劇学校」の門をたたいたときから始まる。その後、みのれに携わるようになり、「田んぼの神様」以来、演劇や音楽活動にと幅広く活躍している。週末はみのれで過ごすことが多い、まるで我が家のようなみのれが大好きだという。

太田さんは、親類の影響を受け、10才からギターを弾き始めたという。15才になるとバンドを組んでライブ活動を始めた。自分の得意分野だった。と振り返る。ライブ活動を通して人に喜んでくれることに幸せを感じた。バンドに青春を感じた10代だったと太田さんは当時を懐かしそうに振り返った。今では、大好き

きなフォークをはじめ、ロックやジャズ等多岐にわたるジャンルをこなすようになったという。

太田さんは「演劇ファミリーMyu・みのれ」の一員としても活躍している。「ずっとチンドンバンドをやることが夢だった」と話す。先日「小美玉さくらフェスティバル」でも楽しい演奏を披露し、多くのファンを楽しませている。「この活動は、みのれへの恩返しのもりで活動させてもらっている。みのれあつてこそ！」と太田さんは話す。

太田さんの活動はみのれだけにどまらな。自営業を営む傍ら、笠間市観光協会のボランティアも引き受け「笠間ファン倶楽部通信」も発行したり、「マザーウオーター」という一人のグループ名でCDも出している。

そんな太田さんもある時、大きな壁にぶち当たったこと

もあつたという。その時人との出会いがあり、少しずつ自身に気づきはじめ、「すべての答えは、自分のなかにある」という事を悟ったという。「あの充電期間があつたからこそ今の自分があり、色々な事にチャレンジすることが出来る。」と話す。人とのつながりで視野が広がり、色々な出会いで楽しいことが寄つてくるようになった。「人に感動を与えられる人になつたらいいなと思う道の途中に居る。本当のやさしさ、強さとか、たくさんしさを持った人になりたいと思う。ちなみに、只今、花嫁募集中です（笑）」と話してくれた。

シャイな太田さんは、「ここなす太田さんは、V.O.L.3」で逢えたら、スナックあけみの専属ギタリストという役柄で出演する。音楽とお芝居のエンターテイメントで、笑いあり、涙ありの素敵な連休が過ごせそう（藤田 佐知子）